

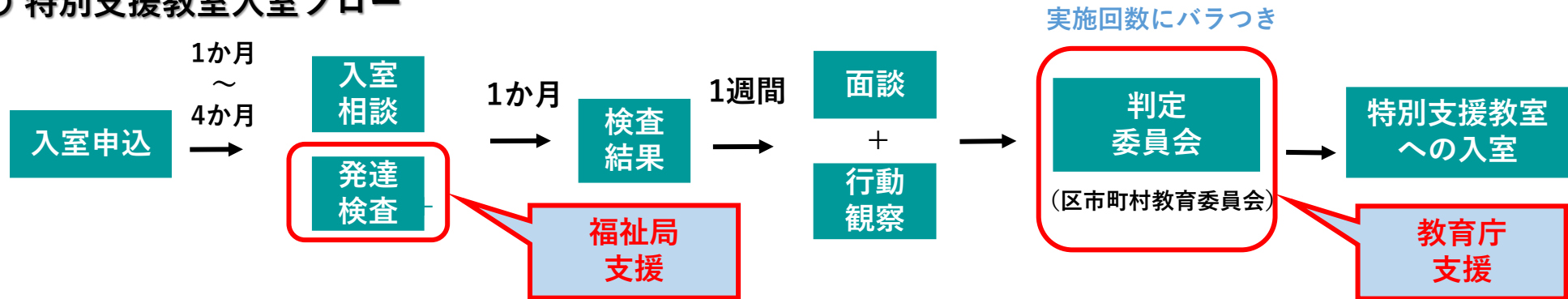
特別支援教室入室に係る判定委員会への心理士派遣について

○ 特別支援教室の指導・支援体制



特別支援教室入室に係る判定委員会への心理士派遣について

○ 特別支援教室入室フロー



⇒ 発達検査体制の充実（福祉局）と判定委員会の適切な実施（教育庁）は両輪の関係

※各プロセスの期間は福祉局実施のヒアリング区市町村のおおよその期間

○ 判定委員会の現状と課題

- ・ **社会的な関心の高まり**
→ 発達検査等の受検に時間がかかり、学校での発達障害等に係る支援開始の遅れについて、NHKで複数回報道。
- ・ **判定委員会支援の必要性**
→ 判定委員会の実施回数は自治体によりバラつきがある。
特別支援教室での支援開始までの待期期間を解消するためには、福祉局の補助事業による発達検査の受検期間改善に加えて、判定委員会の開催を支援する必要がある。

○ R6年度対応

教育庁の既存スキーム活用により心理士を派遣し、自治体の判定委員会開催支援（既存予算による執行対応）